

第1回 宝達志水町総合計画審議会

日時 平成30年12月5日(水) 19:00～

場所 生涯学習センターさくらドーム21 2階 視聴覚室

－ 次 第 －

1. 開会
2. 町長あいさつ
3. 委員紹介
4. 会長選出
5. 諮問
6. 議題
 - (1) 第二次宝達志水町総合計画の策定に向けて
 - (2) 宝達志水町の現状
 - (3) 宝達志水町のこれまでに主な取り組み
 - (4) 町民アンケート結果
 - (5) 将来像(テーマ)の検討に向けて
 - (6) 今後のスケジュール
7. 閉会

宝達志水町総合計画審議会委員名簿

No.	団体名等	役職名等	氏名	備考
1	宝達志水町区長会	会長	網 宣雄	
2	宝達志水町老人会連合会	会長	新田 伸吉	
3	宝達志水町民生児童委員協議会	会長	中村 俊夫	
4	宝達志水町教育委員会	教育長	山岸 芙美	
5	宝達志水町農業委員会	会長	大山 幹雄	
6	宝達志水町文化協会	事務局次長	廣正 清明	
7	宝達志水町商工会	会長	市村 昭代史	代理：西山氏
8	公募委員		岡田 政信	
9	宝達志水町社会福祉協議会	会長	松田 正晴	
10	金沢大学	特任教授	宇野 文夫	
11	経済・金融評論家		津 田 栄	
12	宝達志水町体育協会	副会長	寺崎 敏治	
13	石川県中能登農林総合事務所	所長	前川 久義	
14	北陸大学	教授	南谷 直利	
15	宝達志水町PTA連合会	副会長	松浦 佐千代	
16	宝達志水町PTA連合会	副会長	白川 敬司	欠席

宝達志水町総合計画審議会 議事録

2. 町長あいさつ

<町長あいさつ>

本日はお忙しい中、ご出席くださりまして誠にありがとうございます。そして、公私ご多忙のなか委員を引受いただいたことにも心から御礼を申し上げます。

皆さんにご審議いただく総合計画は、まちづくりの最上位計画になるものです。我が町が誕生しまして13年が経過します。そのような中、人口が減少する、少子高齢化が進む、だんだんと町の活力が失われていく、また将来町の存続そのものが危ぶまれるような、そんな不安な雰囲気が支配している時代ではないかと思っています。一方で、この町はこれからもずっと続いていくものかと思っています。そのなかで、若い人達、子ども達には大きな夢を持って将来に向かって頑張ってもらいたい、そんな思いも持っています。

今月号の広報の表紙には、町出身の友禅作家の方の文化祭で展示された作品が紹介されています。今回のアンケートをとった中でも、今の若い人達もいずれは町を出て生活するかもしれない、生活したいという声が多くありました。若い人が将来夢を持って日本全体のために、世界に羽ばたいて活躍しようという意欲を持つことは非常に素晴らしいことだと思います。一方で、我が町で育ったことに誇りを持ってもらえる、そして、町のために強い願望を持って頑張ってくれるようなまちづくりをする必要がありますし、そういった夢を支えるためにも、全ての方ができる限り幸せに生活していただける、そういうまちづくりをしていかなければならないと、私は本気で思っています。

そうした中、これまでの総合計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略などを実施して、多くの方のご意見をいただきながら進めてきました。そのなかでは、住宅政策、公共交通、病院の開設、また去年は宝浪漫マラソンなども行ってきました。そして、皆さんの幸せを考えれば、安全ということも重要です。万一の災害、犯罪、様々な危機を考えれば、より多くの皆さんにお力をいただきたい。それ以前に、みんなで町をしっかりと守っていこうという思いをいただかなければなりません。

皆さんにお力をいただきながら、私達行政が精一杯頑張るなかで、よりよいまちづくりをこれからも続けていける、そのための大切な計画づくりに当たります。このたび、委員を務めていただく皆さんには忌憚のないご意見をいただけたと思っています。皆さんのそれぞれのご経験、ご見識、そういったものをフルに活用いただいて、よりよい計画づくりにお力をいただきたいと思っておりますし、私達も計画をつくるのが目的ではなく、将来の町のために素晴らしい計画を作ろう、そのために精一杯働いていこうと思っておりますので、これから何度か会合をすることになりますが、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

私は、人生は楽しむものかと思っています。そういったことを皆さんにも思っていただけ、そういった町にしていきたいと思っています。宝達志水町は本当に素晴らしいところかと思っています。豊かな自然もありますし、やさしい人がたくさんいます。そのような多くの素晴らしさを活かしていける町、そのための計画を皆さんと共に作りあげていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

4. 会長選出

○委員：事務局に一任でお願いします。

→●事務局：網委員にお願いしたい

→○一同：異議なし

<網委員長あいさつ>

本日は貴重な時間を割いていただきありがとうございます。時間の許すかぎりご審議をお願いいたします。

6. 議題

(1) 第二次宝達志水町総合計画の策定に向けて

※質疑なし

(2) 宝達志水町の現状

(3) 宝達志水町のこれまでに主な取り組み

○委員：2060年の目標人口が8000人という認識でいいのでしょうか？

→●事務局：8,000人で考えています。人口ビジョンについては、第二次総合戦略の見直しも検討しているため、見直す可能性もありますが、現段階ではこちらで考えています。

○委員：各施策の実施結果についても説明いただきたい。例えばオムライスのプロジェクトについて、どの程度内外に浸透したのかなどを具体的に教えていただきたいと思いません。やりまただけでは答えにならなくて、結果としてどうなったのかが見えないと、次に策定するときにそれやっただけで終わってしまうことがたびたび起こるのではないのでしょうか。

→●事務局：今回は概要を説明するという趣旨であり、現在は各課に指示をだして審議に必要なデータを集めているところですので、今後、議論をお願いしたいと思います。なお、次の第二次総合計画では、各施策にしっかりとした目標値を設定して確認しながら進められるようにしたいと考えています。

○委員：将来人口の設定ですが、希望的観測であって、常識的に考えれば人口1万人を切った段階で合併の可能性もあり、その場合、この地域はますます人口が減少する可能性があります。一方で、川北町のように財政が健全であるならば合併はしなくても問題ないと思います。そんな意味で私が希望を見いだしているのは、製造品出荷額が112億円と2倍に増加していることで、産業と商業の展望がいいように感じます。そこで財政が健全かどうか、現在の状況について教えていただきたいと思えます。

- 事務局：平成 29 年の財政指標は取りまとめ中なので、平成 28 年のもので説明します。記憶があやふやで恐縮ですが、一番悪かった年は借金が県内で下から 1～2 番目くらい、全国でも 1700 番台くらいの悪い状況でした。そこで借金を減らすために行財政改革を行った結果、現在では県内では中ほどに持ち直しています。借金も半分以下になっており、石川県のほぼ平均くらいになっています。当時の状況から見ると劇的に良くなっていますが、人並みの借金をしていることには変わりありません。
- 委員：このような財政状況を踏まえて今後議論をする必要があると思います。

(4) 町民アンケート結果

- 委員：調査概要についてですが、この町自体の年齢構成を教えてください。
- 事務局：人口ピラミッドと比較しても、若者世代の回収率が低いということになります。
- 委員：多変量解析はしていないということですか？
- 事務局：多変量解析はしておらず、クロス集計までということになります。
- 委員：中身の問題もそうですが、回答者の回答意識や参画意識などのレベルが分かっているかないとアンケートの意味がないと思います。
- 事務局：このようなご提案は次回の会合時に反映させていきたいと思います。また、次回以降につきましては、事前に資料をお配りしていきたいと考えています。
- 委員：今回は年代別の集計ですが、地域別の集計はどうなっていますか？
- 事務局：今回は志雄と押水で集計しました。
- 委員：山間地と平地では見方も考え方も違うと思うので、一色単に集計してしまうのはアンケートとしてはどうなのかという気がしますので、もっと細かく分析してほしいです。
- 委員：今回、企業アンケートは実施しましたか？
- 事務局：町民アンケートのみになっています。
- 委員：アンケート結果の「将来像にあたり、重要になると思われるキーワード」を見ると、地域の人達は「働く場所」、「企業誘致」が重要だと回答しています。では、有効求人倍率はどうなっていますか？企業側は労働力を確保されているのでしょうか？これは、日本の課題でもありますが、外国人労働者をいかに確保するかが重要になっています。いかに参天製薬やNTNが頑張ろうと、労働力を確保しなければ産業は維持できません。一方、アンケートの回答では「国際交流」があまり意識されていません。今後、外国人労働者を増やしていきながら、外国人労働者を受け入れる地域のあたたかい「国際交流」という受け皿がないと破綻していくと思います。そのあたりを計画にうまく反映させていくことが重要だと思います。
- 事務局：宝達志水町はよその人に対して閉鎖的だという意見もあります。外国人の方に住んでいただくということになると難しい面もでてきますが、今後このような時代

になっていくことを皆さんに認識してもらえそうなまちづくりをしていかなければいけないと考えます。

○委員：基本的に外国人労働者を確保するのは企業の責任でもありますが、その家族の受け入れも考える必要があります。そういった受け入れのシステムも今から考えていかなければいけないと思います。

→●事務局：先ほどの質問の有効求人倍率ですが、確か 1.7 倍だったと思います。宝達志水町でも人が足りないという状況です。

○委員：逆に言えば、1.7 というのはどういう業種なのでしょう？

→●事務局：資料を用意していないので確かなことは言えませんが、建設関係が飛びぬけて高かったように思います。

○委員：まちづくりをするときに、どういうところにニーズがあるのかチェックしておかないと、答えとして出しにくくなるのではないのでしょうか。

(5) 将来像（テーマ）の検討に向けて

○委員：現在、国が掲げている SDGs（持続可能な開発目標）というものがありますが、よく考えると、SDGs というものは地域経済をいかに盛り立てていくかというのが本質ではないのでしょうか。SDGs の到達目標が 2030 年、宝達志水町の到達目標が 2029 年と時期的にバッチリ合っています。そういう意味で、国際交流を掲げながら、宝達志水町版 SDGs を目指すのはどうでしょうか。SDGs なんて余計なことをと思うかもしれませんが、小学生、中学生のような若い世代は食いついてくると思います。突飛な発言かもしれませんが、頭に入れていただければと思います。

○委員：アンケートとは別に、産業別、参画意識、どのような地域があるのかなどの基礎データ集を作成してほしいです。

→●事務局：資料を用意していきます。

○委員：テーマや基本構想のような建築でいえば設計図のようなものより、生の人間、特に若い人達の心に響くような、具体的な議論をしていきたいです。若い人が住まなければ将来はありません。若い人にどう訴えていくかという本音の議論をしたうえで、それを積み上げてテーマを決めたり設計図を考えたほうが、根っこの部分に時間をかけたほうが良いと思います。企業がこの町に来てメリットがあるかということ、若い世代が中学校までいた時間に良い町だったと思えるような町のプランを、このメンバーで掘り下げて考えたほうが良いと思います。

→●事務局：若い人がという思いは私を含め皆さんが持っていると思いますので、そういった人たちが愛してくれるまちづくりをしなければならぬと考えます。また、データというものは考える材料になるものですから、しっかりと用意して会議のなかで皆さんに活用していただけるよう工夫していきたいです。

○委員：若い人が住みたくなるような町のプランで私が考えるものの例をあげると、大規

模な区画整理をして 100 坪の土地を坪単価 1~2 万で提供するとか、保育料を無料化するとか、自然にどっぷり漬かれるような大きいスケールの遊び場を作るなどです。都市型ではない、田舎ならではの発想で考えるべきだと思います。

→●事務局：同感です。

○委員：この会に若い人達の意見が入っていないのはどうなのでしょう。今の若い人達が宝達志水町のことをどう思っているかを知っていたほうがいいのではないのでしょうか。

→●事務局：おっしゃる通りだと思います。子ども達の意見を尊重するような機会を考えていきたいです。

○委員：例えば別の町では 10 代や 20 代の人達にグループインタビューをして具体的な意見を出していきました。

○委員：CATV を活用して、高校生や中学生にインタビューをすることも考えられます。

→●事務局：どんな手法がいいかということもご相談させていただきたいと思います。

○委員：会議時間はこれからもずっと夜なのでしょう。第一次の時は日中に開催していました。今回は委員のメンバーを見ますと、大学の先生もいらっしゃいますし、遠方から来られる方もいますので、仕方がないかなと思います。

→●事務局：皆さんから改めて意見をお聞きしたいと考えます。

○委員：A 委員がおっしゃったように、テーマを決めるのはいいかもしれませんが、具体的にどうしていったらいいのかを考えたほうが良いだろうと思います。というのも、私が苦勞して農協でやってきた自然栽培が羽咋市に奪われています。現在、自然栽培を目当てに羽咋市に移住してきている人が多くなっています。逆転の発想の覚悟がないと、第二次総合計画はうまくいかないのではないのでしょうか。本気で考える会議にしていかなければなりません。

○委員：夏休みである 8 月に小学校高学年や中学生、宝達高校の生徒などと私達も参加してワークショップをするなどはどうですか？子ども達の生の声を聞くいい機会なのではないのでしょうか。

(6) 今後のスケジュール

○寺崎委員：会議がこの時間が良いが、曜日も調整してほしいです。

